

平成22年度三重県公営企業会計（病院事業庁）

決算審査意見書概要説明

三重県監査委員

平成22年度三重県公営企業会計（病院事業庁） 決算審査意見書概要説明

第1 審査の概要

決算審査の対象は、病院事業庁が経営する平成22年度の病院事業会計です。

決算の審査は、知事から提出された決算書類の内容について

- ① 決算の計数は正確であるか
- ② 決算諸表は、経営成績及び財政状態を適正に表示しているか
- ③ 予算は、議決の趣旨に沿って合理的かつ効率的に執行されているか
- ④ 事業経営は、常に経済性の発揮及び公共の福祉を増進するよう運営されているか

などを重点に、会計諸帳票、証拠書類との照合精査を行うとともに、必要な資料の提出を求め、関係当局の説明を聴取し、併せて定期監査、例月出納検査等の結果を参考に、慎重に審査を行いました。

第2 審査の結果及び意見

1 審査の結果

病院事業の決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令に則り、病院事業庁会計規程に基づいて作成されており、その計数は正確であり、経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められます。

また、事業の経営については、以下の審査意見のとおり留意又は改善を要するもののほかは、概ね適正に処理されているものと認められます。
(以下、説明上、金額は万円未満を切り捨てています。)

2 審査の意見

ア 県立病院改革について

県立病院改革については、平成 22 年 3 月に「県立病院改革に関する基本方針※」が知事から示され、総合医療センターの特定地方独立行政法人化、志摩病院の指定管理者制度の導入に向けての手続きが進められています。

病院の運営形態の変更にあたって、健康福祉部との業務分担については、双方で十分な連携を保ち工程に沿って着実かつ遺漏のないよう進めていただきたい。

運営形態変更後も診療行為に支障の出ない体制とすることが、患者や地域住民にとって重要であることから、現在病院に勤務している職員に運営形態変更後の身分、処遇について十分な説明を行い円滑な移行に努めていただきたい。

また、患者や地域住民に対しても十分な情報提供を行っていただきたい。

運営形態の変更に向け、総合医療センターについては、特定地方独立行政法人化に伴う財務上の課題である病院間の資金貸借の解消方法や特定地方独立行政法人設立時の貸借対照表の試算等の整理がされたところです。今後、志摩病院など 3 病院についても、累積欠損金や退職給与引当金等への対応はもとより、志摩病院の指定管理者制度移行にかかる退職給与金や平成 24 年度以降の運転資金の目処等、資金手当の課題についても検証し整理をしていただきたい。

※ 基本方針では、こころの医療センター、一志病院等については以下のとおりとされている。

- こころの医療センターは、県の精神保健福祉行政との連携を重視し、病院長を事業管理者とすることを前提に、「地方公営企業法の全部適用」を継続する。
- 一志病院は、「県立」病院としては廃止し、「ニーズに応えられる事業者」

へ移譲することで、保健・医療・福祉の領域にまたがる総合的な高齢者ケアへの転換を図るとともに、引き続き地域の医療を確保していく。

- ・ 県立病院経営室は、病院長が名実ともに経営責任者として、柔軟に運営方針を決定し、実行できるようにするため、4病院をそれぞれの組織(法人)として分離するとともに、県立病院経営室を廃止する。

しかしながら、平成23年3月、県(健康福祉部)から、以下の考え方が示され、検討が続けられている。

- ・ 一志病院は、当分の間県立県営で運営を行うこととし、家庭医療が地域に定着しつつあることを踏まえ、保健・医療・福祉を総合的に確保するための運営方針や施設の有効活用等について、あらためて検討を行う。
- ・ 病院事業庁(県立病院経営室)については、総合医療センター及び志摩病院が平成24年4月から運営形態を変更することから、新たな運営体制への円滑な移行を確認する。一志病院の検討結果を踏まえる。こころの医療センター院長を事業管理者とする体制を整備する。ことなどが必要となるため、これらの状況を勘案し廃止の時期を決定する。

イ 平成22年度決算と当面の病院運営について

平成22年度の病院事業会計の収益的収支は5億5,483万円の純損失となり、前年度に比べ、4億6,266万円収支は改善したものの、依然多額の純損失を計上しています。

平成22年度末の正味運転資本(内部留保資金)は前年度より、6億4,076万円増加し18億3,731万円(流動資産38億9,455万円から流動負債20億5,724万円を差し引いた額。流動資産のうち現金預金は14億3,186万円)となっています。

平成23年度末までは、県立県営で4病院の運営を行っていく方針でありますことから、経営の改善及び県立病院としての役割、機能の充実に向け、設定した目標に則り、収支の改善、資金の確保、患者サービスの向上に努めていきたい。

なお、平成22年度の各病院の収支状況及び留意事項については、次のとおりであります。

(1) 総合医療センター

収支は3億4,189万円の黒字であり、前年度に比べ7億2,650万円改善しています。これは、平成22年度の診療報酬改定が、急性期医療や高度医療に比較的手厚かったことや、平成21年度中に取得した7対1看護基準の通年の増収効果等により、医業収益が前年度に比べ約8億9,300万円増加したことによっています。なお、黒字を確保しましたのは、平成13年度以来であります。

今後も、看護基準の安定維持のため、看護スタッフの確保及び定着に努めるとともに、平成21年度から導入しているDPC（診断群分類包括評価）の適正な運用や経費削減により、収支の改善に引き続き取り組んでいただきたい。

※ 7対1看護基準=7人の入院患者に対し、1人の看護師が看護にあたること。
DPC=Diagnosis（診断）Procedure（診療行為）Combination（組合せ）の略。入院患者の診療報酬額について、従来の出来高払いではなく、疾病別に1日あたりの定額を包括的に支払う制度。

(2) こころの医療センター

収支は1億8,493万円の黒字であり、前年度に比べ9,118万円、黒字額が減少しています。

これは、平成22年度はデイケアの充実等により外来患者が増加したこと等により、医業収益が前年度に比べ約4,200万円増加したものの、退職給与引当金に充当するため、特別損失を約1億400万円計上したことによっています。

精神科救急病棟等の施設基準を安定して維持するため、医療スタッフの確保及び定着に努めるとともに、精神科救急患者への対応や、患者の社会復帰支援への取組等を引き続き進めていただきたい。

(3) 一志病院

収支は3,152万円の黒字であり、前年度に比べ4,209万円改善しています。

これは、家庭医療の実践を開始した平成19年度から毎年度、患者数、医業収益が伸びており、取組の成果が地域に定着しつつあることによつています。なお、黒字を確保しましたのは、平成15年度以来であります。

引き続き、家庭医療を行う医師（家庭医）の育成を図るとともに、訪問診療の充実など、地域の医療ニーズに対応していただきたい。

※ 家庭医療＝性別、年齢を問わず、身近な病気を中心に、けがや心の悩み、病気の予防や介護なども含めて患者のケアを総合的に行う医療。「ファミリー・プラクティス」「プライマリ・ケア」と呼ばれる場合もある。

(4) 志摩病院

収支は11億1,318万円の赤字であり、前年度に比べ2億1,473万円、赤字額が増加しています。

これは、地域医師会等との連携や市民ボランティアによる院内活動など、地域医療の充実に向け努力しているところではありますが、医師不足による入院稼働病床数の減少、救急患者受入体制の縮小などが進み、医業収益が減少していることによつています。

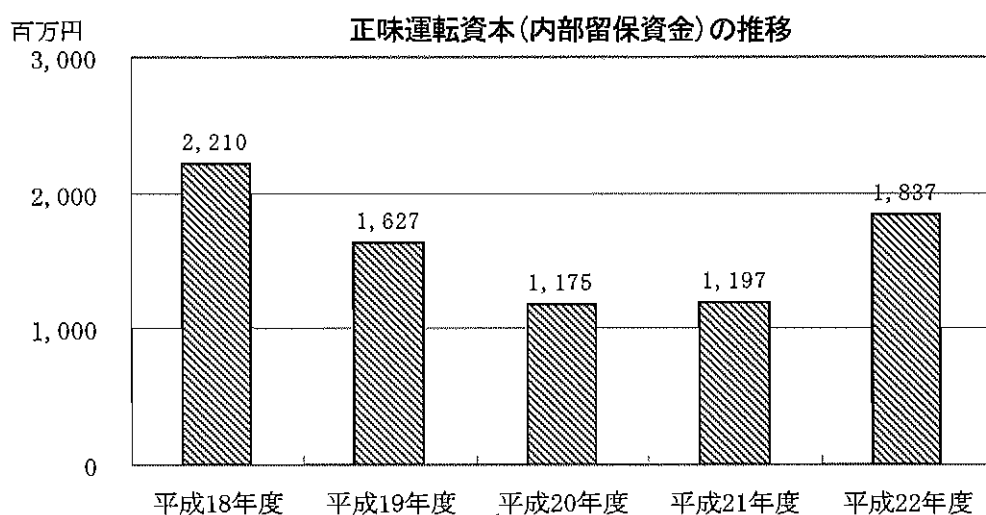
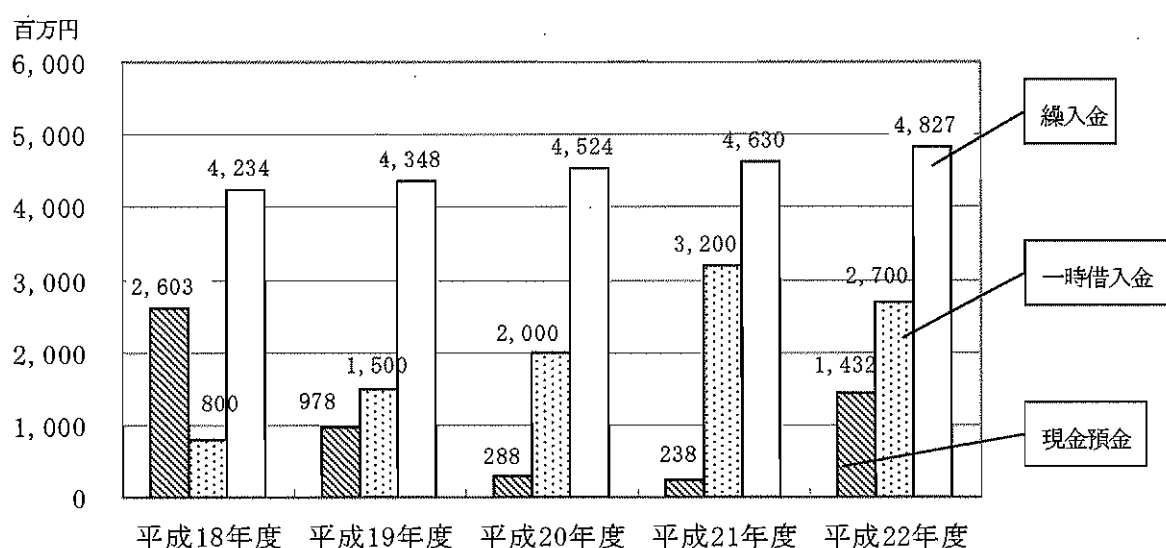
健康福祉部等とも十分な連携を図りながら医師を確保し、診療体制の回復を図っていただきたい。

収益的収支の状況

(単位：円)

病 院 名	平成22年度純損益 (A)	平成21年度純損益 (B)	増 減 (A) - (B)
総合医療センター	341,890,919	△ 384,610,669	726,501,588
こころの医療センター	184,933,281	276,120,411	△ 91,187,130
一 志 病 院	31,523,039	△ 10,571,007	42,094,046
志 摩 病 院	△ 1,113,182,845	△ 898,443,487	△ 214,739,358
計	△ 554,835,606	△ 1,017,504,752	462,669,146

現金預金・一時借入金・繰入金の推移



※正味運転資本(内部留保資金)

現金預金及び1年以内に資金の収入が見込まれる流動資産(未収金等)から、1年以内に資金の支出が見込まれる流動負債(未払金等)を差し引いたもの。

ウ 未収金の回収と発生防止について

平成22年度末における診療費自己負担金の未収金（過年度収入未済額）が、4病院合計で1億6,561万円となっています。

未収金の回収については、電話、文書、訪問等による督促に加え、裁判所を通じての支払督促、弁護士法人への回収委託を行っており、平成22年度中に1,880万円を回収しているところではありますが、引き続き回収に向けての取組を進めていただきたい。

また、平成22年度においては、2,461万円の未収金が新たに発生しているため、早期の回収に努めるとともに、未収金発生防止に向けた取組を継続していただきたい。

診療費自己負担金の過年度未収金

(単位：円)

病 院 名	平成22年度 A		平成21年度 B		増減 A-B	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
総合医療センター	482	104,721,056	573	122,702,199	△ 91	△ 17,981,143
こころの医療センター	179	34,274,875	175	35,039,953	4	△ 765,078
一志病院	18	827,983	12	887,483	6	△ 59,500
志摩病院	172	25,786,089	199	29,915,954	△ 27	△ 4,129,865
計	851	165,610,003	959	188,545,589	△ 108	△ 22,935,586

未収金増減の内訳

(単位：円)

病院名	新規発生	回収	会計上の減額処理	計
総合医療センター	7,713,055	△ 10,135,590	△ 15,558,608	△ 17,981,143
こころの医療センター	8,000,780	△ 3,570,956	△ 5,194,902	△ 765,078
一志病院	22,820	△ 82,320	-	△ 59,500
志摩病院	8,883,201	△ 5,019,997	△ 7,993,069	△ 4,129,865
計	24,619,856	△ 18,808,863	△ 28,746,579	△ 22,935,586

第3 経営の概要

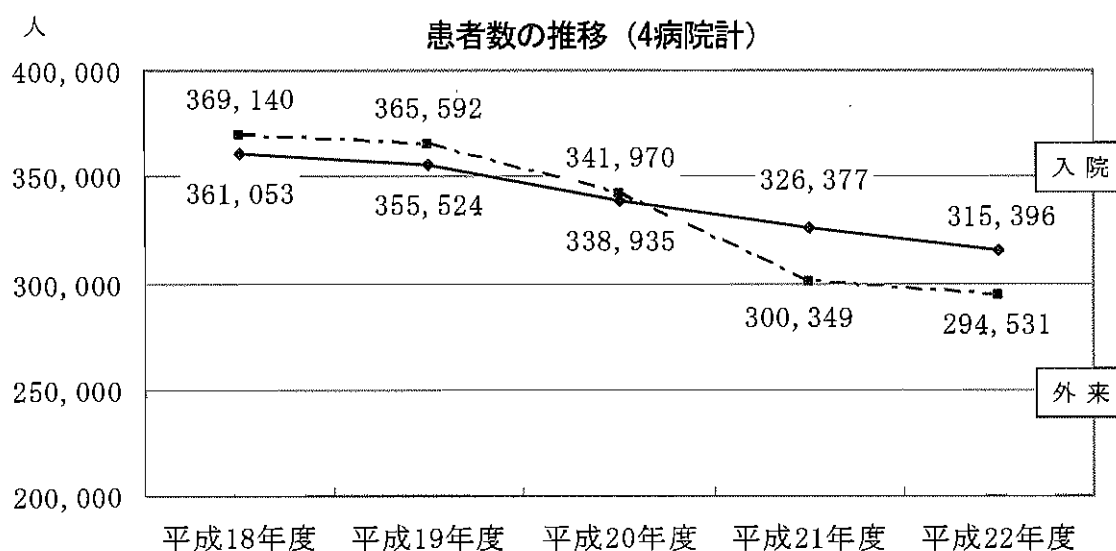
1 事業の概況

病院事業は、病院事業庁が総合医療センター、こころの医療センター、一志病院及び志摩病院の4病院を経営しています。

4病院合計の許可病床数は1,286床ですが、平成22年度末では、一般病床のうち総合医療センターで114床、志摩病院で135床が一時休床となっています。また、一志病院では、療養病床44床が平成19年度から一時休床となっています。

総合医療センターでは、平成23年度当初に看護師等医療スタッフが確保できたことから平成23年度中に休床病床の再稼働を目指し調整を進めています。

患者数の状況としましては、平成22年度の入院患者数は延べ315,396人（1日平均864人）で、前年度に比べ10,981人減少し、外来患者数は延べ294,531人（1日平均1,212人）で、前年度に比べ5,818人減少しています。



2 経営成績

平成22年度の総収益は181億970万円であり、内訳は入院・外来収益等の医業収益が140億2,877万円、一般会計からの繰入金等の医業外収益が40億8,092万円となっています。収益は、主に医業収益の増により、前年度に比べ4億2,103万円増加しています。

総費用は186億6,453万円であり、内訳は給与費、経費等の医業費用が174億6,487万円、企業債支払利息等の医業外費用が10億6,475万円、退職給与引当金にかかる特別損失が1億3,490万円となっています。費用は、支払利息の減等により、前年度に比べ4,163万円減少しています。

この結果、純損益は5億5,483万円の赤字となりましたが、前年度に比べ4億6,266万円、純損失は減少しています。

また、純損益から特別損失を除いた経常損益は、4億1,993万円の赤字となっています。

病院事業の収益的収支

(単位：円)

科 目	平成22年度(A)	平成21年度(B)	増減(A) - (B)
総 収 益	18,109,700,210	17,688,665,507	421,034,703
医 業 収 益	14,028,770,794	13,713,662,627	315,108,167
医 業 外 収 益	4,080,929,416	3,975,002,880	105,926,536
総 費 用	18,664,535,816	18,706,170,259	△ 41,634,443
医 業 費 用	17,464,874,559	17,401,945,805	62,928,754
医 業 外 費 用	1,064,757,257	1,169,320,454	△ 104,563,197
特 別 損 失	134,904,000	134,904,000	0
経 常 損 益	△ 419,931,606	△ 882,600,752	462,669,146
純 損 益	△ 554,835,606	△ 1,017,504,752	462,669,146

3 一般会計繰入金の状況

平成22年度の医業外収益の繰入金は38億7,605万円であり、職員の共済組合追加費用の負担に要する経費等に対する繰入金の増により、前年度に比べ1億3,176万円増加しています。

資本的収入の繰入金は、9億5,100万円であり、企業債償還に対する繰入金の増により、前年度に比べ6,572万円増加しています。

繰入金の内訳

(単位：円・%)

項 目	平成22年度 (A)	平成21年度 (B)	増 減 (A) - (B)	増減率 (A)/(B)	
総合医療 センター	医業外収益	1,586,578,773	1,546,603,488	39,975,285	102.6
	資本的収入	505,237,000	468,025,000	37,212,000	108.0
	計	2,091,815,773	2,014,628,488	77,187,285	103.8
こころの医療 センター	医業外収益	997,066,329	984,874,000	12,192,329	101.2
	資本的収入	190,278,000	181,886,000	8,392,000	104.6
	計	1,187,344,329	1,166,760,000	20,584,329	101.8
一志病院	医業外収益	299,993,000	309,511,950	△ 9,518,950	96.9
	資本的収入	50,461,000	55,114,000	△ 4,653,000	91.6
	計	350,454,000	364,625,950	△ 14,171,950	96.1
志摩病院	医業外収益	727,533,511	752,647,000	△ 25,113,489	96.7
	資本的収入	205,033,000	180,255,000	24,778,000	113.7
	計	932,566,511	932,902,000	△ 335,489	100.0
県立病院 経営室	医業外収益	264,884,600	150,655,000	114,229,600	175.8
	資本的収入	-	-	-	-
	計	264,884,600	150,655,000	114,229,600	175.8
合 計	医業外収益	3,876,056,213	3,744,291,438	131,764,775	103.5
	資本的収入	951,009,000	885,280,000	65,729,000	107.4
	計	4,827,065,213	4,629,571,438	197,493,775	104.3

(注) 医業外収益＝建設改良に要する経費以外の繰入金
資本的収入＝建設改良に要する経費の繰入金

第4 病院別の状況

1 総合医療センター

(1) 患者数の状況

平成22年度の延べ入院患者数は107,623人（1日平均295人）であり、前年度に比べ5,059人増加しています。延べ外来患者数は137,466人（1日平均566人）であり、前年度に比べ3,698人減少しています。

(2) 経営成績

平成22年度の総収益は101億8,335万円であり、病床利用率の向上や平成22年度診療報酬改定、平成21年度途中に取得した7対1看護基準等により、前年度に比べ9億3,239万円増加しています。

総費用は98億4,146万円であり、給与費や診療材料費の増等により、前年度に比べ2億589万円増加しています。

総収支は、前年度に比べ7億2,650万円改善し、3億4,189万円の黒字となっています。

2 こころの医療センター

(1) 患者数の状況

平成22年度の延べ入院患者数は121,887人（1日平均334人）であり、前年度に比べ581人減少しています。延べ外来患者数は60,071人（1日平均247人）であり、前年度に比べ3,520人増加しています。

(2) 経営成績

平成22年度の総収益は33億7,435万円であり、デイケアの充実等による外来患者数の増等により、前年度に比べ6,136万円増加しています。

総費用は31億8,941万円であり、給与費や特別損失の増等により、前年度に比べ1億5,255万円増加しています。

総収支は、前年度に比べ9,118万円悪化しましたが、1億8,493万円の黒字となっています。

3 一志病院

(1) 患者数の状況

平成22年度の延べ入院患者数は12,721人（1日平均35人）であり、前年度に比べ1,169人増加しています。延べ外来患者数は22,646人（1日平均93人）であり、前年度に比べ2,468人増加しています。

(2) 経営成績

平成22年度の総収益は8億3,698万円であり、入院・外来患者数の増等により、前年度に比べ5,481万円増加しています。

総費用は8億545万円であり、特別損失の皆増等により、前年度に比べ1,271万円増加しています。

総収支は、前年度に比べ4,209万円改善し、3,152万円の黒字となっています。

4 志摩病院

(1) 患者数の状況

平成22年度の延べ入院患者数は73,165人（1日平均200人）であり、前年度に比べ16,628人減少しています。延べ外来患者数は74,348人（1日平均306人）であり、前年度に比べ8,108人減少しています。

(2) 経営成績

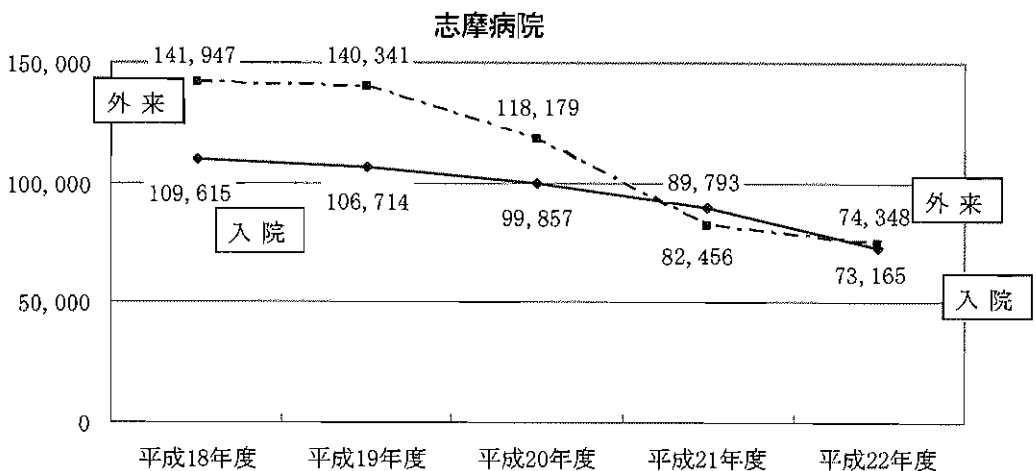
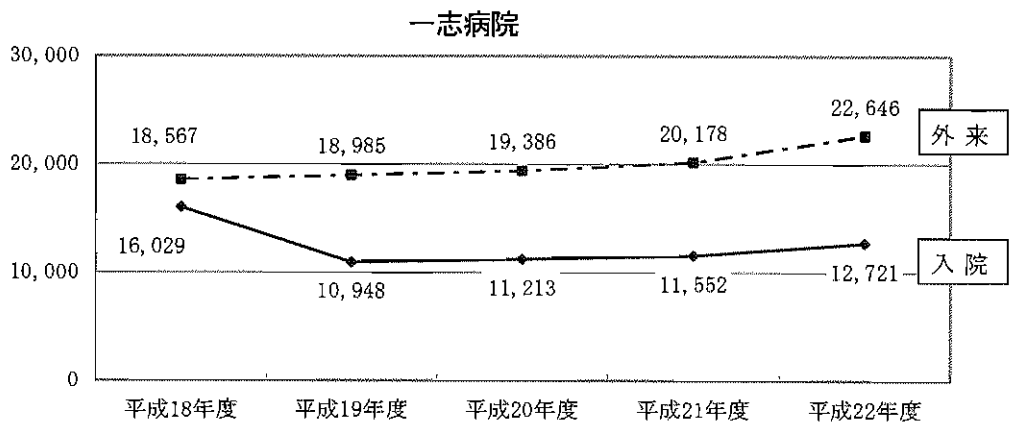
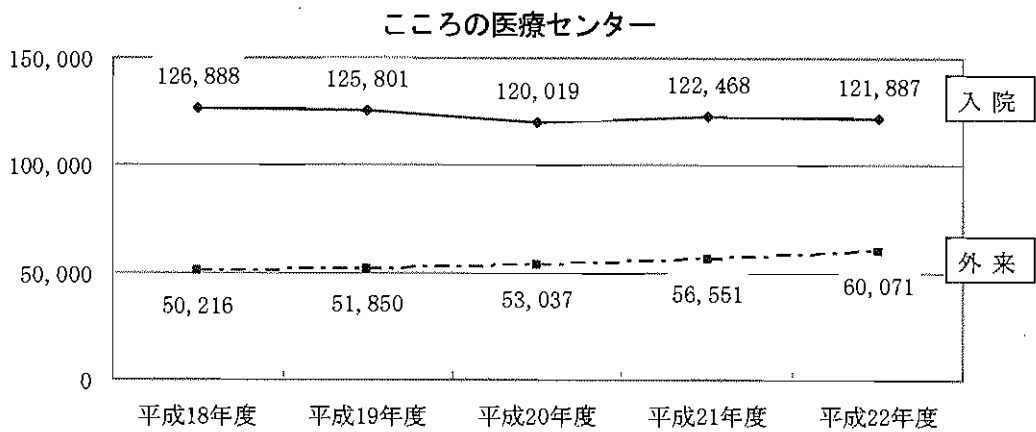
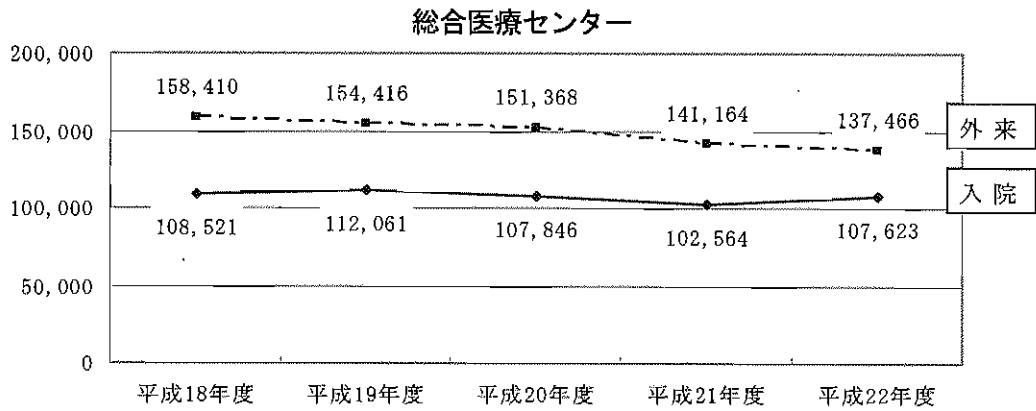
平成22年度の総収益は34億4,090万円であり、入院・外来患者数の減少等による医業収益の減により、前年度に比べ7億3,382万円減少しています。

総費用は45億5,409万円であり、給与費、材料費、支払利息及び特別損失の減等により、前年度に比べ5億1,908万円減少しています。

総収支は、前年度に比べ2億1,473万円悪化し、11億1,318万円の赤字となっています。

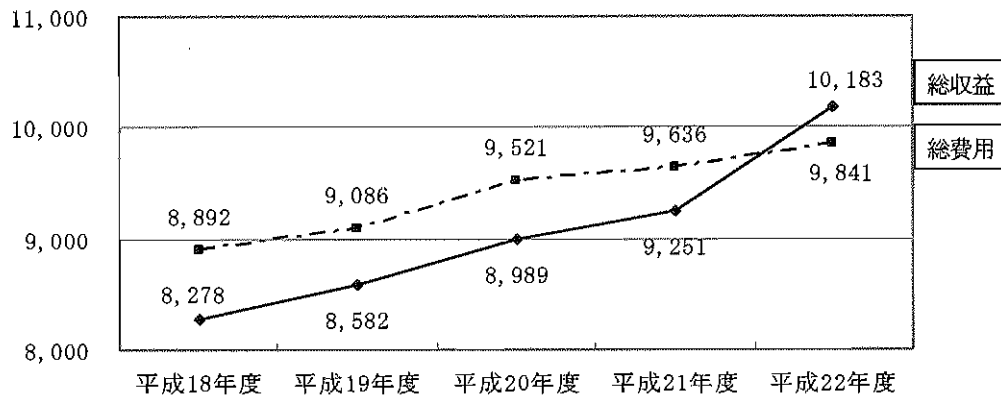
(参考)

患者数の推移（単位：人）

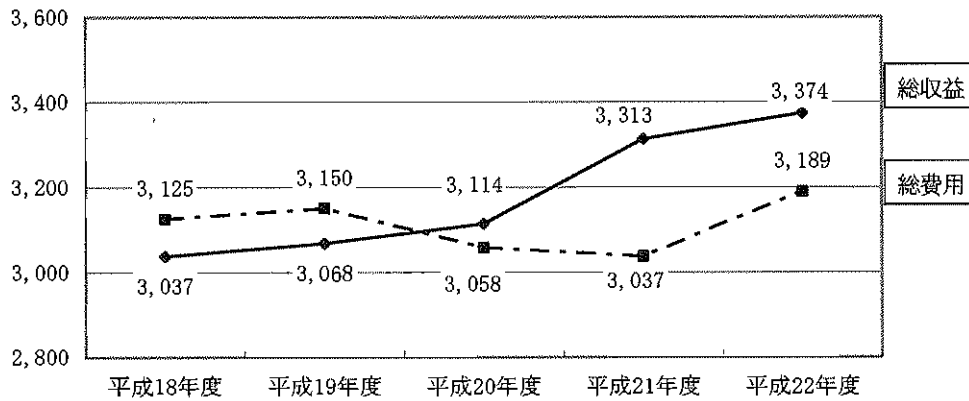


総収益と総費用の推移（単位：百万円）

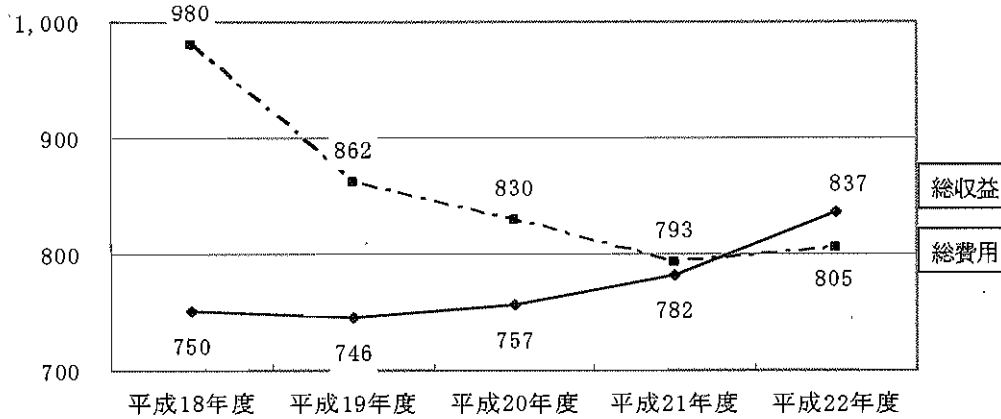
総合医療センター



こころの医療センター



一志病院



志摩病院

